第３回　日野市介護保険運営協議会
第３回　日野市地域包括支援センター運営協議会
第３回　日野市在宅高齢者療養推進協議会
第３回　日野市地域密着型サービス運営委員会
要　点　録

［日　　時］令和８年２月９日（月）18：30～20：10
［場　　所］日野市役所２階　職員休憩室
［出席委員］　14 名
［内　　容］

≪開　会≫

介護保険運営協議会

≪議事≫

（１）　有料老人ホームの移転・定員数増について

≪報告≫

（２）第６期日野市高齢者福祉総合計画策定のための基礎調査の結果概要について

（３）特定施設入居者生活介護事業所（軽費老人ホーム（ケアハウス））の開所時期について

地域包括支援センター運営協議会

≪報告≫

（４）令和８年度地域包括支援センター運営方針について

在宅高齢者療養推進協議会

≪報告≫

（５）日野市在宅療養支援センター相談実績報告

地域密着型サービス運営委員会

≪報告≫

（６）地域密着型サービス事業所公募について

（７）認知症対応型共同生活介護事業所の廃止について

【資　料】

・議事次第
・【資料２】第６期日野市高齢者福祉総合計画策定のための基礎調査の結果概要について
・【資料４】令和８年度地域包括支援センター運営方針について
・【資料５】日野市在宅療養支援センター相談実績報告
・令和７年度第２回要点録案

※議題（１）（３）（６）（７）については、配布資料なし

［議事要旨］

≪開　会≫

・委員数 16 人中１４名出席。半数以上の出席のため会議成立。

・会議の内容について正確を期するため録音をさせていただく。

・議事録については要点録として公表させていただく。

・前回、副会長野田先生より委員をお辞めになるとの申し出。副会長は会長が指名することになっているため、日野市医師会の望月先生にお願いしたい。（承認）

≪介護保険運営協議会≫

（１） 有料老人ホームの移転・定員数増について

～事務局より説明～

～質疑応答～

意見・質問なし

（２）第６期日野市高齢者福祉総合計画策定のための基礎調査の結果概要について

～事務局より説明～

～質疑応答～

委　員　貴重な資料だがページ数が多いため、もう少し論点をわかりやすくコンパクトにできるといい。AI などを活用してもいいのではないか。

委　員　前回よりも回収率のよくなった項目もあり、自治体の行う調査としてはかなり堅実な有効回答数回収率かと思う。

委　員　介護支援専門員について、不足しているという方が他の職種に比べて少ない印象だが、現場の温度感と乖離があるなというのが正直な感想。

委　員　訪問系や通所系がヘルパーが足りていない。

委　員　いわゆる常勤非常勤の割合で言えば、施設居住系のところでの常勤職員の割合が多いので、場合によっては常勤職員として施設居住系が選び取られて、訪問施設系通所系はやや少ないということもあるかもしれない。年代別でいうと 60 代 70 代の方女性の非常勤の割合が圧倒的になるので、比較的年代の低い人たちは常勤等になっていき、比較的その訪問系通所系は高齢の女性たちが占める割合が大きくなっていくということかもしれない。

委　員　日野ケアマネ協議会でも、各事業所居宅介護支援事業所の方に介護支援専門員の所属状況の実態調査というのを独自に行った。60 才以上の介護支援専門員というのが、実は全体の３割を超えているというのが市内の状況。5 年後・10 年後には、50 人弱のケアマネージャーが補充されなければ減っていってしまう。

委　員　市内だけでは受け切れていない状況がある。他市や 23 区からの依頼も増えている印象がある。

委　員　介護福祉系の大学、看護系含めてもう新卒が入ってくる見込みがない。根本的な問題としてやっぱりなり手がいない。

※細かな表現上の文言等の修正があれば、2/13（金）17 時までに事務局へ連絡。

（３）特定施設入居者生活介護事業所（軽費老人ホーム（ケアハウス））の開所時期について

～事務局より説明～

～質疑応答～

委　員　当初令和８年度に改修だったものが、やむを得ない理由により令和９年度となり、今回令和 10 年度の開所ということになる。市民の方々にとっては利用料できる時期が２年近く遅くなるのはあまり望ましくないこと。認めざるを得ないことではあるが、計画に即して、今の財務の状況財務状況と合わせて実現可能な形で進めていくしかない。

≪地域包括支援センター運営協議会≫

（４）令和８年度地域包括支援センター運営方針について

～事務局より説明～

～質疑応答～

委　員：この運営方針は、９か所の包括支援センターと議論を尽くした上での内容となっているのか。

事務局：FHIT のパソコンを通じて意見を募ったり、メールでやりとりをして方針を決めている。

委　員：避難行動要支援者の名簿について、私の地域では自治会と自主防災会で市と協定を結んで受け取っている。理事会の役員と老人会のメンバーと民生委員で要支援者対策委員会を作っているが、最近活動が停滞しているので、地域包括支援センターと意見交換などができるとよい。

委　員：特に首都圏の直下型だったり南海トラフがあったとき、こうした名簿を情報共有しながら、包括とも共有していくっていうこと連携を取れる常日頃の体制を作るというのは必要不可欠なこと。

委　員　避難行動要支援者名簿について、国は個別避難計画を努力義務に位置付けてると思うが、どの程度進んでるのか教えてほしい。

事務局：個別避難計画について、３年間なかなか進んでいない状況があった。今年度ケアマネさんに協力をいただき、要介護 3 から 5 の方を中心に個別避難計画を作っている最中。今後はその計画をどう利用していくかに入っていく。

≪在宅高齢者療養推進協議会≫

（５）日野市在宅療養支援センター相談実績報告

～事務局より説明～

～質疑応答～

委　員：東京都が最終的に決めるが、19 万人を超えるこの日野市において医療機関が非常に少ない。今後、救護という観点が必要。

≪地域密着型サービス運営委員会≫

（６）地域密着型サービス事業所公募について

～事務局より説明～

～質疑応答～

委　員：今回応募のなかった看護小規模多機能型居宅介護は、ぜひもう１、２つぐらいあるのが、地域の市民のニーズにこたえる意味でも重要。継続して募集を求めるという形になるかと思う。

※応募のあった定期巡回随時対応型訪問介護看護については、次回報告の予定。

（７）認知症対応型共同生活介護事業所の廃止について

～事務局より説明～

～質疑応答～

委　員：社会福祉法人正水会の通所デイサービス、グループホーム、高専賃が令和８年３月３１日をもって廃止となるが、今後は空いたスペースは地域の方々にご活用いただきたいと思っている。

最後の連絡事項の中で、野田委員より今回の運営協議会をもって退任する旨の申し出あり。

［閉会］